

新規就農先輩の軌跡 No.57

<2014(H26) 7月掲載>

<p>新規就農者の素顔</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p>
<div data-bbox="188 300 552 779" data-label="Image"> </div> <p>氏名：藤井 輝明（ふじい てるあき） 住所：姫路市飾磨区妻鹿 年齢：39歳</p>	<p>農地：30a 施設：パイプハウス12a 経営内容： 〔施設〕こまつな21a、みずな10a、 しろな10a 〔露地〕ほうれんそう10a 労働力：1.5人(本人と妻) 出荷先：市場、直売所</p>
<p>就農から現在まで</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p>
<p>2011.5～2012.3 姫路市兼田の岡本農園（農業経営士）において施設野菜の農業研修 2012.4 就農 2012.5 網干メロン栽培開始 2012.6 パイプハウス（180㎡）建設</p>	<p>○良かった点 良かったことと言うより嬉しいことについては、市場で一番の高値がついたとき。また、直売所で他の生産者よりも自分の商品が早く売れたとき。は素直に嬉しい。 ○苦労した点 自分ではつらいと思ったことは無い。</p>
<p>農業をめざした動機</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p>
<p>飲食店経営時から毎日触れる食材・素材への興味が強くなり、就農を志すようになった。</p>	<p>農業も立派な経営です。作物を育てるだけで無く、一経営者としてのセンスが問われます。 また、苦労（栽培のみならず、販路開拓や農地拡大等）は多々ありますが、ひとつひとつ乗り越えていくことによってステップアップしていく自分があるように思います。 非常にやりがいがありますが、かなりの覚悟が必要です。 大変ですががんばってください。</p>